
花の音

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

花の音

【Nコード】

N7992I

【作者名】

嘩月 - k a 「 d / z 」 u k i -

【あらすじ】

- - - - -

（前書き）

花の音 はなのね

季節が廻っても 気付けなかった
枯れてゆく花だけが此処にあつて……

薄れゆく光 陰が降り始め
無機質の安息が 途絶えてゆく

日が照り 枯れ
雨が打ち 凍て
風が吹き 折れ
それでも何も感じれない……

箱詰の花 空へ燃えゆく 悲しげに見て
最期を唄う 花の音

此処にいるよ と歎いてみせた……

季節が廻っても 意味などなかった
枯れ燃えた花はまだ此処にあつた……

掠れゆく意識 色が空白に
無機質の陰花が 静かに揺れる

季節は廻ってく 花は疾うに枯れていた
沈みゆく意識だけが此処にあつて……

悠久の時が 陰で刻み付け
終わらない苦悩が いつまでも続く

陰で咲く 花
意識裂く 花
独り空く 花
永い終りの無い闇……

淋しげに揺れ 虚に想う 消えた何かを
独り唄う 花の音

此処にいるよ と呟くだけで……

此処にいるよ 此処にいるよ 此処にいるよ………

此処にいるよ

(後書き)

疾うに(と)うに

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7992i/>

花の音

2010年12月14日18時14分発行